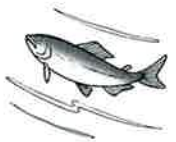


大山子ども体験道場で

「魚のつかみ取り体験」



8月5日(日)、大山子ども体験道場主催で「魚のつかみ取り体験」がありました。

「子どもたちにいろいろな体験をさせ、地域の良さを再確認させたい」「子ども同士のみならず、大人も交え、異年齢の交流を深めたい」という思いで立ち上げたこの道場の第一弾の企画でした。

当日は園児からおじいさんおばあさんまで120人ほどの参加者が阿弥陀川に集まりました。

初めての鮎、マス、イワナの手



▲ほら、捕まえたよ！

づかみに子どもたちは「逃げた」「そっちに行った」と大はしゃぎでした。そして苦労して捕まえたときの「やったー、捕まえた！」のうれしそうな雄叫び。にぎやかで、楽しいひとときでした。

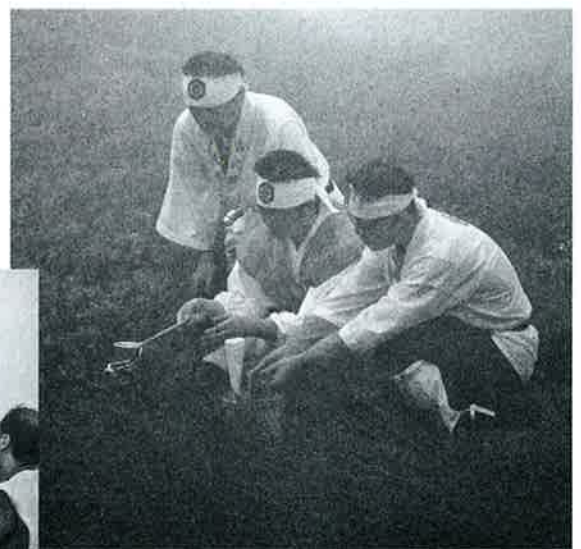
捕まえた魚は串に刺して、炭火で焼いて食べます。「初めて鮎を食べた」「おいしい」など歓喜の声があちこちから上がっていました。

それぞれの年代で、楽しむことができたとともに園児に声をかけ世話をする児童、汗だくになり炭をおこすお父さんたち、終始ボランティアで手伝ってくれた中学生、開催までに協力をいただいた地域の方々、一つのイベントを通して異年齢集団が交流を深めた一日でした。



▶いいにおいがしてきたね

伝統の神事 「もひとり神事」が 執り行われました!!



▲梵字ヶ池での御神水汲み

今年2月に鳥取県の無形民俗文化財に指定された大神山神社奥宮の古式祭「大山のもひとり神事」が、7月14日(土)の夕方から7月15日の朝にかけて執り行われました。

文化財指定後に初めてとなったこの神事に26人の参加者があり、NHK取材班の登頂もありました。

14日の夕方には少し心配な天気模様でしたが、派遣祭の頃には晴れ間もあり無事に登頂することができました。祭場の岩室周辺は冷たい風が吹き、濃い朝もやの中でしたが、幻想的な雰囲気の中で、「頂上祭」と「梵字ヶ池からの水汲み」「薬草採取」が行われました。

頂上から持ち帰った御神水や薬草は帰還祭で奉納され、薬草は最後に参加した希望者に分けられました。



▲薬草を受け取る参加者



▲岩室で山頂祭を見守る参加者